Sagano News

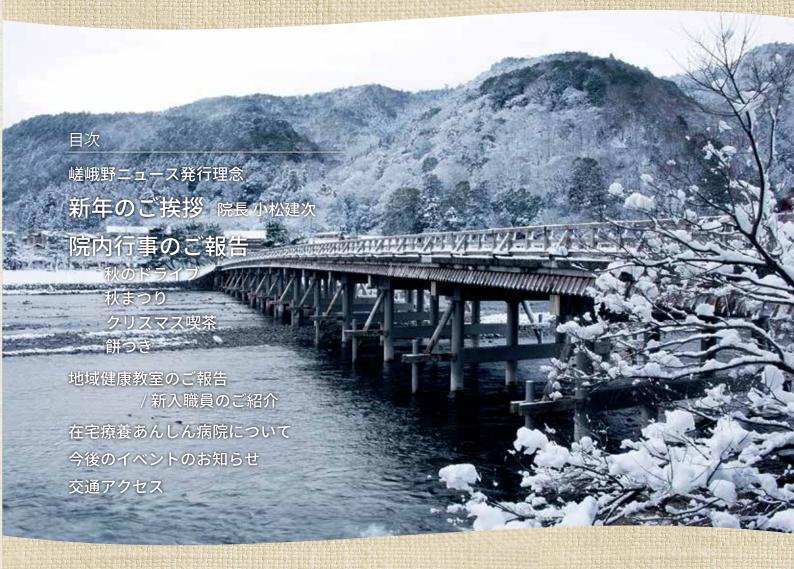
嵯峨野ニュース



嵯峨野病院

在宅療養あんしん病院登録病院 www.jinpukai.or.jp/sagano

Vol.47 2016.WIN.



写真提供: 営繕担当 枡井 寛幸「新春の渡月橋」

Sagano News 発行理念

目的

嵯峨野病院並びにその関連施設における包括的 組織活動が広く社会から信頼を得るべく、その要望 に対応し、よりよく情報を活かすこと並びに職員間 の一層のコミュニケーション向上に資することを 目的とする。

指針

| 地域社会の関連施設との連携

|施設としての利用者の促進

職員間のコミュニケーション促進と改善

平成26年4月制定

一般財団法人仁風会 嵯峨野病院 機関誌委員会

新年のご挨拶

嵯峨野病院長 小松 建次

皆様、申年の新年明けましておめでとうございます。皆様にはよき新年を お揃いでお迎えになりましたことと心よりお慶びを申し上げます。

十干十二支では今年は丙申(ひのえさる)に当たりますが、丙は太陽の火であり、申は果実が熟することを意味するという解釈がありまして、丙申は 陰でこつこつと努力してきたことが、実を結ぶ年になるとあります。

さて昨年の12月1日より厚生労働省からメンタルストレスの調査の実施 義務が課されまして、50人以上の職員を擁する事業所は職種を問わず、調 査を職員一人一人に実施することが義務づけられました。調査を受けること は義務ではありませんが、受けるように勧奨することが望ましいとされてい ます。50人以下の事業所の実施は努力義務となっています。

この調査の結果を集計して、職場環境の改善につなげることがその目的の 一つであります。

大きく組織化された事業所の希薄な人間関係の中で、孤独感に苛まれるような人が多くあり、また小さな組織でも人との接触の多い職場環境で、人に親しみを持って接することの出来ない人もあり、ケイタイが唯一のお友達であるような人もいるわけであります。

本年は申年でありますが、「見ざる」、「言わざる」、「聴かざる」の三つの猿にならないように、職場では常にものごとをよく見極めて判断し、職員間でよく意見を交わして、又人の意見にもよく耳を傾けることにより一層明るく、協働して業務に勤しむことが出来る職場の環境作りこそが何より健全なメンタルヘルスの維持への条件であると思います。

本年も皆様方の一層のご健勝と益々のご活躍を心より祈念申し上げます。

院内行事のご即告

10/15 秋のドライス

晴天の中、上京区にある北野天満宮までドライブに出かけました。嵯峨野病院から15分ほどの距離にある「北野の天神さん」に祀られている菅原道真公は学問の神様として有名ですが、その他にも数多くのご神徳を持つ神様です。

この日は6名が参加され、ポカポカ陽気のなか境内を散策しました。国宝にも指定されている本殿をお参りし、休憩時間には職員も一緒におしゃべりに参加させていただきました。平日ということもあって境内は人が少なく、すがすがしく気持ちの良い1日となりました。







11/19 秋まつり



賑やかなお囃子と香ばしいソースの香りが広がる会場で、 職員が準備した屋台の綿菓子やカステラ、お好み焼きを出来 たての味で食べていただきました。その後ボーリングや魚釣 りゲームなどを時間いっぱいまで楽しんでいただきました。

12/24 クリスマス喫茶













大きなクリスマスツリーを眺めながら、ケーキを召し上がっていただきました。目の前に運ばれたケーキを見て、「え!まるまる1個食べていいの?」と嬉しそうに職員に聞かれたり、ひと口食べて「おいしい!」とおっしゃるなど、大変喜んでいただけました。

12/28 餅つき







アツアツに蒸されたもち米が掛け声と共に力強くつき上げられ、みるみるうちにツヤツヤのお餅へと変わりました。つき立ての美味しそうなお餅を目の前でご覧になり、「一つ食べたいなぁ」というお声が、あちこちから聞こえていました。

地域健康教室のご報告

当院では、地域にお住まいのみなさまへ健康に関する情報をお届け するため、地域健康教室を毎月第4土曜日に開催しています。身近な 話題を中心に講演していますので、どうぞお気軽にご参加ください。

10月 2025年問題(講師:医師 田村元)

10年後は「在宅重視」という可能な限り在宅で暮らすことになる時代がやってくるだろう。 自宅で生活を継続するための介護ニーズに対応し、かつ高齢者が安心して住める環境を作らなく てはなりません。個々の高齢者の状況やその変化に応じて、介護サービスを中核とした様々な支援が継続的かつ包括的に提供される仕組みである「地域包括ケアシステム」の構築が必要になってくるでしょう。

11月 「運動不足と介護リスク」 ロコモーティブシンドローム(講師:院長 小松 建次)

ロコモーティブシンドローム (ロコモ)の原因に「加齢による運動器機能不全」があります。 加齢により身体機能は衰えます。筋力や持久力低下、反応時間延長、運動速度の低下にバランス 能力の低下があげられます。また「閉じこもり」などで運動不足になると、筋力やバランス能力 の低下などで運動機能が全体的に低下し、ささいなことで転倒しやすくなるため、ロコモ解消を 目的とする日本整形外科学会ロコモトレーニング(ロコトレ)をご紹介しました。

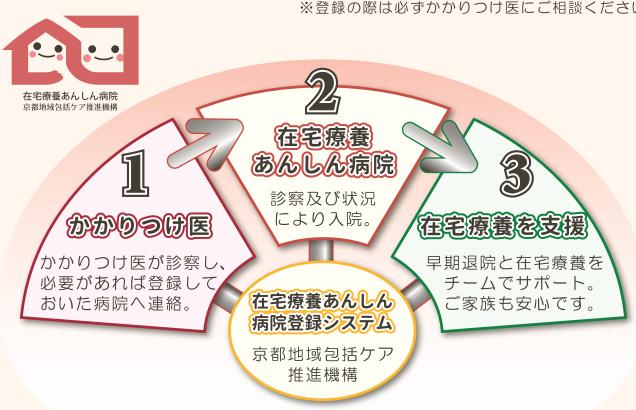
12 月 食中毒予防について(講師:管理栄養士 松木 さなえ)

食中毒は、飲食店などで食べる食事だけでなく、家庭での食事でも発生しています。家庭での食中毒を防ぐのは、食材を選び調理する皆さん自身です。食中毒予防の原則は、1. つけない、2. 増やさない、3. やっつけるの3つです。食中毒予防のための調理方法の工夫や免疫力が高まるレシピについてお話させていただきました。正しい知識でこの冬の食中毒を防ぎましょう。

在宅療養あんしん病院 登録システム

本システムに登録をすることで、事前にかかりつけ医と登録病院及び在宅療養を 担当するチームとの連携を作り上げることができ、体調を崩された時でも よりスムーズな受診が可能です。あらかじめお選びいただいて登録した病院で詳しい 診察や入院対応を行うので、患者様やそのご家族の不安解消にも役立っています。

※登録の際は必ずかかりつけ医にご相談ください



嵯峨野病院では、外来診察や入院治療だけでなく、在宅介護関連事業も 幅広く行っております。本システムご利用方法などについても、詳しく ご説明させていただきますので、ご不明な点やご不安な事などがありま したら、お気軽に受付までご相談ください。

対象となる方】

京都府在住の65歳以上の方で、次のような 在宅療養中の方が対象となります。

- 訪問診療を受けている方
- ◆ かかりつけ医に定期的に通院されている方

登録無料

要介護認定を受けている方であれば、 嵯峨野病院を「あんしん病院」として登録 することができます。(指定番号:シ-4)

※ご注意

本システムは、比較的軽度の病状変化によって在宅療養の維持が困難になり、1週間以内に 退院できると見込まれる場合に利用できます。急性心筋梗塞、脳卒中、骨折などの緊急性の 高い病気やケガ、および長期療養を目的とした入院は本システムの対象とはなりません。

今後のイベントのお知らせ

|2月 3日(水) 13:30~ 「節分」

場所:嵯峨野病院 1階食堂·談話室

|3月 3日(木) 13:30~ 「ひなまつり」

場所:嵯峨野病院 1階食堂·談話室

| 3月25日(金) 15:45 ~ 「第8回 JINPAS 活動発表会」

場所:嵯峨野病院 1階食堂·談話室





嵯峨野病院グループ 交通アクセス

嵯峨野病院

〒616-8251

京都市右京区鳴滝宇多野谷9

TEL: 075-464-0321 FAX: 075-461-7383

(2) 嵯峨野病院居宅介護支援事業所

TEL: 075-467-8726

訪問介護事業所さがの

TEL: 075-467-8736

〒616-8251

京都市右京区宇多野福王子町22番6

FAX: 075-467-8007

(3)嵯峨野病院上野橋デイサービスセンター

〒615-8003

京都市西京区桂上野東町103

TEL: 075-383-0900 FAX: 075-383-0905